

北海道方面

室蘭土木管區の道路工事

室蘭市内御前水方面の國道改良延長三百五十間の擴張工事は九月末を以て完成の豫定で四間半乃至五間幅のが十間となりカーブは思ひ切つて切取り殆ど直線となつた近く砂利を敷きローラをかける許りに進捗してゐるが工費は三萬四千圓である本工事完成の上は追つて御崎驛と東輪西間の改良工事を施す豫定でこれにて市内の國道工事は一段

地方通信

地方通信

落となるが取残されてる蘭東、蘭西運用交通上の疵といはれる佛坂切下工事は將來五メートル位引下製鋼所病院前の弓形のカーブが無くなるのだがこれが施行には工費少くも十四五萬圓を要すると見られるが當局の意向では年三萬圓位を投じ弗々工事を進めたいとの事である苫小牧勇拂原野開發の排水溝掘鑿工事は第一幹線は八萬五千圓第二幹線は一萬五千圓を以て浦河谷萬吉氏の請負で目下二百名の労働者が働いて居り十二月末までに豫定通り竣工の見込みである然して第二幹線の方は單獨で水田より畑經

營の働きをなすことになるが第一幹線は既定の工區の零鎮から百七十四鎮に至る一部分で更に北線南線第三線と工程を進めて始めて完成するのであつてこれらの總工費は概算四十萬圓前後である、十勝日高を結ぶ御影と右左府間の道路開鑿はその着手の時期が見當つかぬが先頃帶廣と室蘭の兩土木所長關係町村長有志が大舉實地踏査したが双者の里程十二三里の中本當に開鑿を要するのは約九里で國境は大森林地帯で工費は十八萬五千餘圓を要する筈である。

栗山栗澤間拓殖道路

行詰れる栗山町發展の振興策として多年村當局者並に篠原、小林兩村議が努力を拂ひつゝあつた栗澤——栗山間拓殖道路開鑿問題は緊縮事業繰延の爲延期の状態にあるが、夕張鐵道開通に直面して一日ともいはれない急を要する事を痛感し過般町代議員會に問題が提出されるや種々論議がかはさ

れ問題が再燃し結局從來の如く期成委員を選定し運動を開始する事に決定したので今回は相應成果を收め得るものとして町民は期待を懸てるが此事業を遂行するには莫大なる資金を要するので町百年の大計から打算して徹底的に計畫を樹立して從來の如き轍を履まず多數町民の支持を得て問題貫徹に猛進せずば完成は不可能であるので近く町民大會を開催すべく委員間で準備中であるが開催の曉は此の問題を一村議否委員の事業とせず多數町民は出席して隔意なき所見を交換一致團結目的の達成に邁進することを申合せた。

東 北 方 面

久坂峠の改修

宮城縣桃生郡大川字久坂峠の掘鑿改修問題は多年の宿案にして、同峠が産業、教育等不振の原因となるので、紫桃村長、狩野

村議等、多數有志の奔走によつて今回工費三千圓を投じ、いよいよ改修に着手したが、折柄農閑期の事として、失業農民がよごこんで出役してゐるため、目下騒がれてゐる、農村失業問題も緩和する事が出来た譯である。

田尻登米間道路改修著工

宮城縣遠田郡田尻町長大貫村長外町村會議員は川越土木課長を訪ひ豫れて産業道路に編入されてあつた田尻、登米間五千四百九十八間の道路改修に關し、地元においては總工費四萬八千圓の四分の一を寄附するにつき早速著工されたいと陳情した、本道路は迫川沿岸を横斷する唯一の産業道路で迫川荒蕪地一萬五千町歩の開墾實現する場合はその利用程度も高まり地方産業開發上最も緊要なる道路である、現在の道幅は一

間半であるがこれを三間に擴張するもので縣は既に豫算に計上し地元寄附の纏まるの

をまつてゐたのであるから直ちに着手する見込みである。

北 陸 地 方

新潟縣の道路起債認可

昭和四年度、五年度道路起債九十九萬圓は内務、大藏兩省に申請中であつたが十七萬八千圓を減額して八十一萬二千圓の認可指令が四日午後三時縣へ到著した、其内譯は四年度分は四十五萬圓の申請中三十八萬一千圓認可になり、五年度分は五十四萬圓申請中四十三萬一千圓認可となつた、従つて寄附金と縣費を合算して、明年度工事費百三十七萬圓は百十二萬七千九百圓となつた。

道路橋梁修繕費割配當

新潟縣に於ては管内各土木派遣所に對し第二回道路橋梁修繕費豫算を左記の如く配

當し尙ほ歩掛の單價等修正に伴ひ從來に比し低廉となつたので、工事の施行に當つては充分注意の上最善の研究所置を取るやう通牒した、

所名	道路修繕費	橋梁修繕費
新潟	一四、〇〇〇	二、〇〇〇
新津	六、二〇〇	一、〇〇〇
新發田	八、二〇〇	一、二〇〇
村上	五、〇〇〇	一、四〇〇
長岡	一三、四〇〇	一、二〇〇
三條	七、五〇〇	一、二〇〇
小千谷	五、五〇〇	一、二〇〇
六日町	三、四〇〇	一、〇〇〇
柏崎	七、五〇〇	一、二〇〇
安塚	四、五〇〇	六〇〇
高田	一三、〇〇〇	二、二〇〇
糸魚川	四、八〇〇	一、四〇〇
相川	六、〇〇〇	一、二〇〇
計	九九、〇〇〇	一七、〇〇〇

旭橋の改修は年度内着手

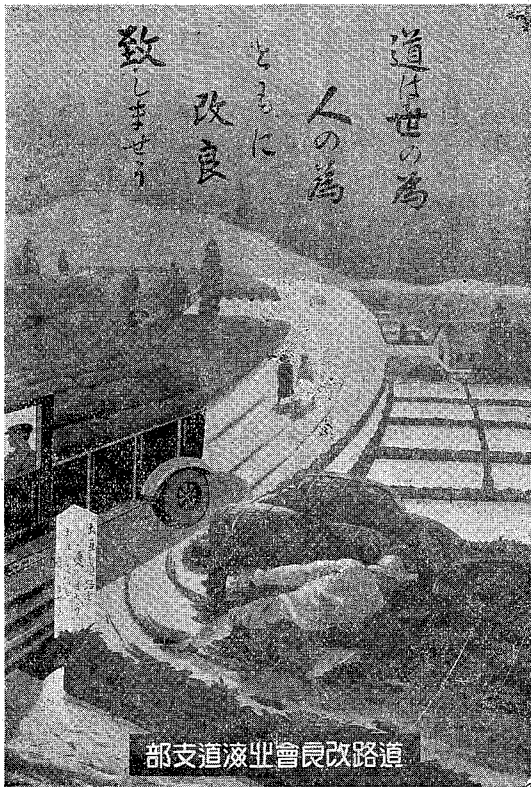
越後小千谷の旭橋改修に關しては最近其

の實現に全町力を傾倒の状態となれるが去月の水害以來一層改修の急を要する程に危険となつたので本年度經費中より遣り繰り

月中旬著手するに決した。

三十六橋濁流に凌はる

越後東部今夏の大出水は近來稀なる慘狀



道は世の爲
人の爲
ともに
改良
致しませう

部支道液世會良改路道

して改修することに決定し近く開會される

縣參事會の承認を経て來年二月の減水期に

著手することとし假橋工事は取り敢へず今

を現じ縣道路橋にして流失せるもの十八橋

町村橋十八橋計三十六橋に達した、即ち

△新潟安塚線安塚村地内虫川橋、大平橋、

下猪子田橋、大和橋、中津橋、山崎橋

△十日町直江津港線松代村地内元田橋、

田澤橋

△月池大割野線松之山村地内天水橋、福

島橋

△山口浦川原停車場線下保倉村地内有島

橋

△松之山松代線松代村地内千歲橋

△月池安塚線大島村地内苜蓿橋

△菖蒲浦川原停車場線大島村地内三竹澤

橋

△宇津俣安塚線牧村地内清水平橋

△和田上稻田線牧村地内落葉橋

右の外

安塚村和田橋、下保倉村地内菱田橋、長

走橋、山本橋、松之山村長命橋、松代村

小荒戸橋、錦帶仙橋等である。

關西中國方面

兵庫山間部道路の改修

兵庫縣多紀郡内に於ける本年度道路改修
工事は主として前年度繼續にかゝる事業で
次の箇所を改修する、即ち篠山、三田線(城
南村小枕)、木津西脇線(木津芦原間)、草山
福住線(大幸村藤坂)、篠山陵部線(草山村
鼓時)、福住古市線(城南村真南條および古
市村波賀野)等である。

道路受益者負擔規程

道路法第三十九條に基く道路工事施行の
際に於ける受益者負擔金徵收規程は近く兵
庫縣當局にて告示の豫定であるが、大體の
内容は左の如く本規程は目下工事中の姫路
二號國道改修工事受益者に適用されるもの
である負擔金額は工事費の二分の一以内
を徵收され新設又は擴張の場合道路幅員の
各五倍の地域に在る土地所有者、舗装の場
合は奥行二十間の地域にありては土地所有
者に賦課する筈。

道路費の地元寄附

兵庫縣にては從來繼續道路改修工事の際
に於ける地元寄附金は工事竣功後清算と同
時に納付せしむる形式を執つてきたが内務
省が財源不確實なるものゝ工事施行を危み
前納方針をとつてゐるので、本縣でも今後
工後工事著手と同時に納付せしむることに
方針を改め十九日管下各土木出張所を通じ
關係町村長に向けこの旨を通達した。

口佐津縣道の改修工事着手

兵庫縣城崎郡口佐津村無南垣から同村浦
上に通ずる縣道延長千二百九十間―内九十
九間は隧道―の改修工事は神崎郡粟賀村黒
田寅藏氏の手で工費十萬四千九百圓を以て
請負はれたが二十九日から著工の運びとな
つたので二十八日午前十時から現場に於て
地鎮祭を舉行した、同工事は大正十四年の
北但疑獄事件に問題とせられ現口佐津村長

松森周藏氏が無實の罪で六十餘日を未決に送つた氏にとつては感慨深きものである。

圓山大橋竣工

但馬豊岡町郊外城崎郡新田村鹽津地内新圓山川に架せる『圓山川大橋』は出石郡に通ずる主要交通路に當り過般の大水害で假橋の流失以來渡船(午後七時以後は新田村在郷軍人會員の特志奉仕による)により辛うじて連絡を保つてゐたが本橋工事も愈々竣成したので附近は非常の歡びに満ちて居る同橋は工費十五萬圓を以て今春一月十七日大阪鴻池組の請負工事として著手以來二百五十餘日を費し使役人夫延人員八千六百餘人に及び鐵材四百十九噸二三センチト四千三百七十三樽を要して居り、橋の長さは百五十六間四分、有効幅員三、三間、高水處は鐵柱橋脚十八基、低水處は鐵筋コンクリート橋脚六基を以て支へ高欄はすべて鐵

製橋面はアスファルトモルタルを鋪裝し現代架橋技術の粹を鍾めたる尖端的な方式をとつたものであると云ひ工費の點に於ても亦但馬隨一であるといふ。

下ノ關市の道路鋪裝

兎角非難され膝の下關市道路鋪裝工事は安上りて完全を期したいとピチユマルスカら瀝青乳劑へと鋪裝材料を變へて見たが思はしくないのが度は大坂で專賣特許品として眞價を認められつゝある石川式液體アスファルトを取寄せ近く交通量百分の卅ノ町魚市場通り五十間百面坪に試験することとなつたが同鋪裝材料は耐久力強く極少量で濟むさうで米國で種々研究された結果良好だつたものさうである。

國調交附金で道路の鋪裝

今回の國勢調査で下關に千百八十四圓の國庫交附金が交附されるが市では既にこの

交附金を當にせず調査費金として五千七百八十五圓を計上してゐるので市ではこの交附金を以て市道鋪裝工事に流用しようとして目下計畫中であるといふが坪八圓の工費にして地元負擔を半額とし約三百坪の鋪裝が出来る譯であると。

九州方面

別府・由布院兩溫泉道路

曩に組織された別府由布院溫泉間の道路擴張期成會では別府市石垣南北由布の各關係地から三十餘名の評議員を選定し協力して運動を起す事となつたが平山別府市長は別府市の評議員十五名を召集して今後の運動方法其他について協議を凝らし役員一同縣廳に阿部知事を訪問して縣費を以て該道路の擴張方を陳情した。